

## 開館日・開館時間変更の試行結果報告（中央図書館・腰越図書館）

## 1 試行期間

平成 30 年 9 月 1 日（土）～11 月 30 日（金）の 3 か月間

## 2 試行実施館

中央図書館及び腰越図書館

## 3 試行内容

## (1) 開館時間と休館日

	開館時間	閉館時間	休館日
中央図書館	午前 9 時	午後 6 時 (平日の木・金曜日は午後 7 時)	平日の月曜日 (祝日は開館)
腰越図書館	午前 9 時 30 分	午後 6 時 (平日の木・金曜日は午後 7 時)	平日の月曜日 9 月 24 日*
(参考) 現行	午前 9 時	午後 5 時 (平日の木・金曜日は午後 7 時)	月の最後の月曜日

\*腰越行政センターの法定点検のため、9 月 24 日を休館とした。

## (2) 職員・図書館業務嘱託員の勤務時間

午後 6 時閉館にあわせ、職員は午前 9 時 15 分～午後 6 時、図書館業務嘱託員は午前 9 時 30 分～午後 6 時の勤務シフトを新設。

勤務時間と開館時間を近づけることで、開館時間を延長する。中央図書館ではスライド勤務時間帯を短くして 1 時間の延長を、腰越図書館ではスライド勤務をせず 30 分の延長を可能にした。

## 4 試行の目的

- ・今後の職員体制を見据え、持続可能な運営体制を探る。現在、開館時間が勤務時間に比べ、45 分間短い。開館準備や閉館後の作業は必要であるが工夫により、できる限り勤務時間と開館時間を近づけ、効率よく業務を行うことを目指す。
- ・平日の木・金曜日以外のすべての開館日の開館時間を午後 6 時までとすることで、通常の開館時間では来館しにくい利用者が来館しやすくなるかどうか検証する。
- ・月曜休館とすることへの利用者への影響を検証する。
- ・開館時間の繰り下げによる利用者への影響を検証する。

## 5 利用者ニーズの把握

- ・平成 31 年度以降、市内全図書館で月曜休館、開館時間を午前 9 時 30 分～午後 6 時までとする検討案と、現状どおりのどちらを支持するか、アンケートにより利用ニーズを把握した。

## 6 試行結果

### (1) 利用状況（統計資料は資料 2 のとおり）

- ・午後 5 時以降の来館者は、想定ほどは増えなかった。しかしながら一日平均の貸出数が前年度より増加したことから、午後 6 時まで開館することで利用しやすくなったと考えられる。
- ・中央図書館 1 階では、予約資料を取りに午後 5 時以降に来館する方が増えた。両図書館で、仕事帰りの方、親子連れの来館者が多く来館された。
- ・想定していたほど、中高生の新たな来館は増えなかった。
- ・いずれの図書館でも、閲覧席や利用者用インターネットを利用していた方が、引き続き午後 6 時まで利用される姿が目立った。

### (2) 利用者からの意見・反応など（集計結果は資料 3 のとおり）

- ・来館者アンケートとシール投票を全図書館で実施。集計結果では、月曜休館が困るという意見と、午後 6 時までだと利用しやすいという意見がほぼ半々という結果となった。このアンケート結果だけではどちらか判断することは困難である。
- ・試行の内容と、検討案の内容が異なることから、きちんと検証できないのではという意見が複数あった。中央図書館の開館時間を午前 9 時 30 分からとすべきであった。

### (3) 業務への影響

#### ア 業務の申し送り、周知の課題

- ・中央図書館ではスライド勤務により、3 種類の勤務開始時間が発生したが、複数回打ち合わせを行い、情報共有を図った。人数がある程度配置されていることと、事務室が別フロアにあることで、打ち合わせを持つことができたと考える。
- ・腰越図書館では、打ち合わせを持つことが困難だった。

#### イ 人員配置の課題

- ・中央図書館では、スライド勤務により 1 階カウンターに職員が不在となる時間帯には、図書館専門業務嘱託員がカウンター業務、予約処理などを主に担った。館内に職員が不在になることはないため、概ね混乱なく業務を遂行できた。
- ・会議や行事対応、カウンターローテーションをまかなうための人数不足による超過勤務が発生した。

#### ウ 月曜休館の影響

- ・月曜日にあてていた図書館業務嘱託員の一部を他の曜日に振り分けることが可能になり、行事や会議など職員がカウンター業務以外の必要な業務に専念することができた。
- ・外部研修への参加や、中央図書館から市内他図書館への応援派遣を行うことができた。

- ・巡回業務、ポスト返却処理、電話対応、インターネットで受け付けた予約やリクエストの処理、開館している館からの問い合わせへの対応など開館していなくても通常業務が相当量あり、予定していたほど館内整理等が進まなかった。
- エ 開館準備の課題
- ・限られた人数で試行前に行っていた業務（予約資料の確保、予約取置き期限切れ資料の処理、ブックポストの処理等）をすべて行うことはできなかった
- オ 巡回業務の課題
- ・各図書館に資料を運搬する巡回業務を委託しており、運行開始時刻、終了時刻を柔軟に行うことができなかった。本実施する際には、業者と協議する必要がある。
- カ 閉館後の課題
- ・閉館時間と同時に勤務時間が終了するが、閉館後に行わなければならない業務があり、試行全日において午後 6 時に勤務を終了することができなかった。

いずれの課題についても、市内全館を一斉休館にすること、開館時間を繰り下げてスライド勤務を発生させないようにすること、関係者と調整することや、業務の工夫により解決できると考える。